

## 令和6年度 学校評価報告（小学校）

### 《総評》

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度もWeb形式での回答方法にて実施し、70.2%の保護者の皆様からご回答およびご意見をいただくことができました。

アンケート結果の中で、「とてもそう思う」に6割に届かなかった項目に関しては、教員の指導意識の低さも結果に繋がったのではないかと感じています。特に「キャリア教育」「英語教育」「ICT教育」については低い評価となりましたこと、小学校として取り組みの見直しが必要と感じています。ICTの活用に関しては時代の流れから教育現場では必要不可欠となり、本校でも令和7年度から全学年で一人1台タブレットを携行することになります。鉛筆で書くことも大切にしながら、児童がルールを守って正しく活用していくことができるよう、私たち教員も指導力の向上をめざして日々研鑽を積んでまいります。

英語教育については、現在オンライン英会話を取り入れています。一人ひとりがより多くネイティブティーチャーと会話ができるようにと導入いたしました。アンケートでは画面越しではなく、ネイティブティーチャーと対面で直接やり取りができる授業を望まれるお声もありましたが、当面は現在の形を継続してまいります。

宿題の量については、適量かどうかは個人差があります。どうしても一律全員に同じ量の課題を課すことになりますが、学年や担当教員によって課題の出し方や量に差が出ていたことは否めませんので、学年・教科の中で整理していきたいと考えています。

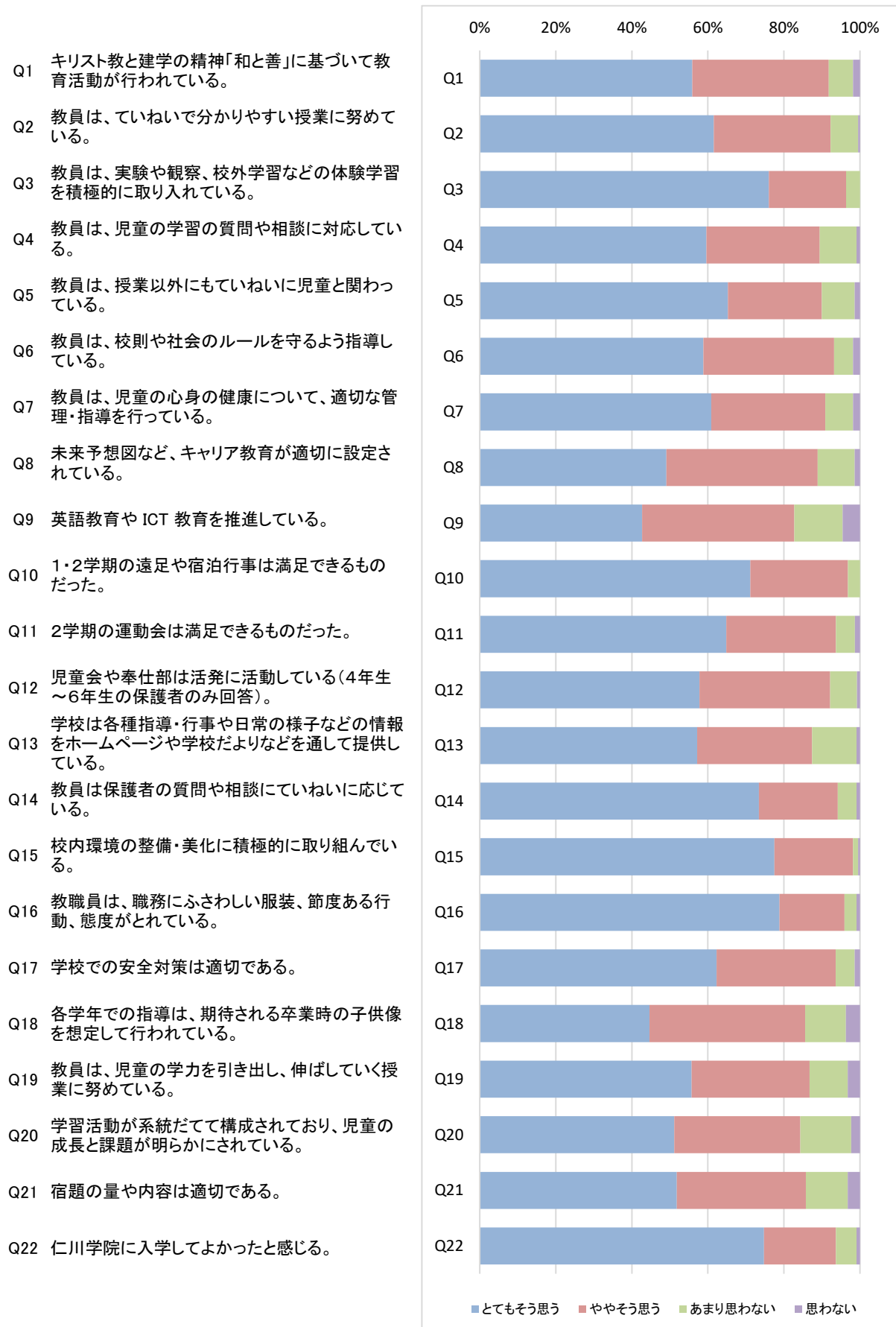
コロナ禍以降様々な制限がある中での教育活動が続きましたが、令和6年度はほぼ本来の活動に戻すことができました。運動会も競技数はコロナ前よりも少ないものの、午後も開催させていただきました。この午後開催に関しては保護者様の中でも賛否両方のご意見が出されましたが、今後もより良い形で実施できるよう検討を続けてまいります。

夏用セーター導入（冬用は夏に着用するには向かないとのご意見）に関しては今後検討してまいります。併設中学・高等学校で使用しておりますリュック型制かばんの導入に関しては「良かった」とのお声が多く、4年生以上で購入可を継続してまいります。

また教員の指導に関しまして、一部厳しいご意見を頂戴いたしました。いただいたご意見は真摯に受け止め、学校として必要な指導・研修を行ってまいります。教員アンケートの結果からも、教員自身が「できていない」と感じている項目が多々ありました。まずはその点から改善が必要だと感じています。

今後も児童が楽しくのびのびと学校生活を送り、保護者の皆様に信頼される学校づくりを目指してまいります。今後も、保護者の皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和6年度学校評価アンケート 小学校(保護者)



## 令和6年度学校評価アンケート 小学校(教員)

- Q1 キリスト教と建学の精神「和と善」に基づいて教育活動が行われている。
- Q2 教員は、ていねいで分かりやすい授業に努めている。
- Q3 教員は、実験や観察、校外学習などの体験学習を積極的に取り入れている。
- Q4 教員は、児童の学習の質問や相談に対応している。
- Q5 教員は、授業以外にもていねいに児童と関わっている。
- Q6 教員は、校則や社会のルールを守るよう指導している。
- Q7 教員は、児童の心身の健康について、適切な管理・指導を行っている。
- Q8 未来予想図など、キャリア教育が適切に設定されている。
- Q9 英語教育や ICT 教育を推進している。
- Q10 1・2学期の遠足や宿泊行事は満足できるものだった。
- Q11 2学期の運動会は満足できるものだった。
- Q12 児童会や奉仕部は活発に活動している(4年生～6年生の保護者のみ回答)。
- Q13 学校は各種指導・行事や日常の様子などの情報をホームページや学校だよりなどを通して提供している。
- Q14 教員は保護者の質問や相談にていねいに応じている。
- Q15 校内環境の整備・美化に積極的に取り組んでいる。
- Q16 教職員は、職務にふさわしい服装、節度ある行動、態度がとれている。
- Q17 学校での安全対策は適切である。
- Q18 各学年での指導は、期待される卒業時の子供像を想定して行われている。
- Q19 教員は、児童の学力を引き出し、伸ばしていく授業に努めている。
- Q20 学習活動が系統だてて構成されており、児童の成長と課題が明らかにされている。
- Q21 宿題の量や内容は適切である。
- Q22 仁川学院に入学してよかったと感じる。

